

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日 令和7年4月4日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '岩瀬中央公民館各種講座事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the program's purpose and implementation.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (e.g., ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標) with data for 05-09 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel (正規職員従事人数) for 05-09 years, including a '期間限定総投入量' column.

Table showing internal details of expenses (事業費の内訳) for 06 and 07 years, including '07 報償費' and '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 07, 08, and 09 years, including a note about the program's status.

事務事業名	岩瀬中央公民館各種講座事業	事務事業No.	20201000611	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和51年2月1日 公民館建設後 市民の生涯学習に対する意欲が出てきたことにより始まった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自主講座の活動状況も活発で、併せて定期講座にも多くの申込がある。内規として定期講座の開催は3年度間としており、講座を刷新するが継続する場合は、自主活動講座へと誘導している（令和5年度は1講座が自主活動へ変更）。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習や文化活動を通して、知識・見聞を深めており結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の生涯学習や文化活動の輪を広げる「きっかけ」づくりに役立っている。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 岩瀬中央公民館においては定期講座終了後に自主活動講座へと移行する場合がある。施設の利用率も高いため、更に定期講座を増やすと自主講座と内容が重複したり、活動する機会が減ってしまうため、これ以上に増やすことは難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生涯学習の場であり必要である。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 大和及び真壁伝承館（中央公民館）各種講座事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 令和7年度さくらすの開館により、そば打ち講座を除いた講座はさくらすを管理する指定管理者が行うので、「岩瀬中央公民館各種講座事業」は廃止し、そば打ち講座は「各種生涯学習講座事業」へ統合する。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 各種講座開催に要する最小限の予算であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としており公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 令和7年度さくらすの開館により、そば打ち講座を除いた講座はさくらすを管理する指定管理者が行うので、「岩瀬中央公民館各種講座事業」は廃止し、そば打ち講座は「各種生涯学習講座事業」へ統合する。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 ・大和中央公民館の一時休館、岩瀬中央公民館の廃止に伴い、現在、羽黒改善センター及び真壁伝承館にて行われているが、各地区ごとに各種講座事業としていたものを、「各種生涯学習講座事業」として統合する。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 各種生涯学習講座事業へ統合する。 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	--